

## 2 予算案のポイント

### (1)基本方針

「次期総合5か年計画」と、その実行計画である「第4期長野県食と農業農村振興計画」のスタートにあたり、担い手の確保・育成や、収益性の向上、持続可能な農業への転換を最重点に施策展開します。

### (2)重点事項

#### 政策の柱1 持続可能で安定した暮らしを守る

##### 環境にやさしい農業など持続可能な農業の展開

- 市町村等が主体となり行う有機農業産地づくり（オーガニックビレッジの創出）支援や、脱炭素化にもつながる生分解性マルチの利用促進を図ります。
- 果樹のせん定枝など未利用有機物を使った炭素貯留の取組や、牛のげっぷから発生するメタンガスの抑制効果検証などにより温暖化緩和・適応技術の開発と普及を進めます。

##### 災害に強い県土づくりと農業基盤整備

- 豪雨や地震などによる災害に対応するため、引き続き排水機場の改修や防災重点農業用ため池の耐震化など災害に強い県土づくりに重点的に取り組みます。
- 効率的で生産性の高い農業を実現し、担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地の区画拡大や畑地化、水管理の省力化等の農業基盤整備を進めます。

#### 政策の柱2 創造的で強靱な産業を育てる

##### 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 今後の本県農業生産を牽引し、産地の中核を担う大規模法人の育成を進めます。
- 女性農業者や若手農家などのクリエイティブな発想を活かした新たな就農支援策の検討や、中高生等を対象にした農業版キャリア教育等により農業人材の幅広い確保に取り組みます。

##### 日本一を目指す果樹(りんご、ぶどう、なし、もも)の産地力向上

- 果樹戦略品種の安定生産と品質向上支援や、樹園地継承、産地基盤の強化などを推進し、果樹の産地力の向上に取り組みます。
- 「クイーンルージュ®」の安定生産、品質向上に向け、新たに現地推進チームを設置し支援を強化するとともに、動画作成等により栽培管理技術の発信に取り組みます。

##### 農業競争力の強化

- 国内市場のみならず、海外市場でも「稼ぐ」ためのさらなる輸出拡大に向け、本県の強みを発揮できる、ぶどう、コメ、花きを中心に流通事業者との連携を強化し、継続的な輸出拡大に取り組みます。
- 担い手不足と生産性向上のため、スマート農業機械の導入を支援します。

#### 政策の柱3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

##### 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 農ある暮らしアドバイザー・地域サポーターによる相談活動、栽培セミナー等の実施や、農地保全活動のほかに生活支援等を行う農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進などにより、信州の農村の魅力維持、活性化を図ります。